

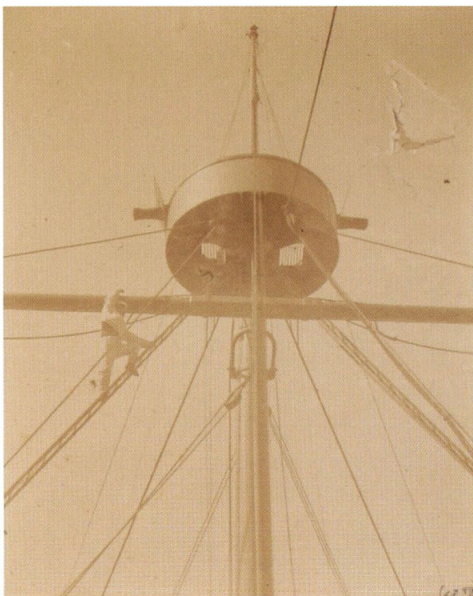


34 里見雲嶺《高千穂艦靈鷹圖》

明治二十八年（一九一五）  
絹本墨画淡彩  
本紙一四二・九×七一・〇

明治二十八年に宮内大臣土方久元より献上された作品。明治二十七年九月十七日、黄海海戦に勝利した軍艦高千穂のマストに、一羽のハヤブサが舞い降りた瞬間が描かれている。このハヤブサは、『日本書紀』において東征した神武天皇が長髓彦の軍勢と戦った際に、天皇の弓にとまって金色に輝き敵軍の目をくらませて勝利に導いたという金の鵄と重ねられ、勝利をもたらす霊鷹として尊ばれた。絵の作

者は、明治大正期に広島において活躍した四条派の流れをくむ画家里見雲嶺（一八四九～一九二八）。墨を主体に付け立て法などの技法を用いて、湿潤で落ち着いた絵に仕上げている。また、献上者の土方久元と文事秘書官であった股野琢がそれぞれ霊鷹を題材にした賛文を書き入れている。日清戦争当時、ハヤブサの飛来が瑞祥とみなされ、盛んに歌や絵画が製作された一例と言えよう。



【参考】

《征清之役写真帖 第三》より 軍艦高千穂の写真  
台紙に記された墨書には「軍艦高千穂二於テ鷹ノ宿マリシ場ノ真景 但黄海海戦ノアリシ日ノ夕」とある。マストに登り、位置を示す水兵の姿が写されている。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

鳥の楽園 — 多彩、多様な美の表現

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 68

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 黒川廣子

発行 宮内庁

平成二十七年三月二十一日発行

© 2015, The Museum of the Imperial Collections, Sanmonaru Shozokan